

演目

午前十一時開演

反对俤 駒亭 志 舞 (渡辺)

錦の袈裟 愛子亭 朝 大 (家富)

宗徳院 信加亭 艶 満 (鞠子)

しつくす 東中亭 どテ珍 (荒瀬)

はやぶさの 最期 乱亭 馬明日 (佐野)

午後一時頃

芝基 於家 馬 亜 (佐藤)

殺し屋 イチロー 南家 御 前 (能美)

粗忽長屋 春風家 目留変 (萩原)

死神 何亭 骨 太 (加藤)

短命 相亭 不 撰 (大塚)

午後三時頃

蜘蛛駕籠 晴れる家 さりすと (駒形)

船弁慶 和朗亭 南 坊 (首藤)

三井の大黒 バルク亭 源 内 (平賀)

真田小僧 宮亭 大 真 (正)

妻馬 風呂家 さん助 (藤井)

午後五時終演予定

プロフィール、演目解説

駒亭 志 舞

(こまてい しまい)

本名 渡辺周介 平成二十三年(乙)卒
東大落語会の武闘派最年少。近頃めつきり体型が中年に近づいてきましたが、いまだに諸先輩からは現役生に間違えられます。富士の山奥からの参加。よろしくお願いいたします。

反对俤 落語の中でも一、二を争う動きのある高座。まだまだ若いつもりで体力で暴れさせていただきます。

愛子亭 朝 大 (あいしてい ちようだい)
本名 家富恒志。昭和四十年(法)卒。

学生時代は三代目小圓朝師匠に師事。当落語会には初回から十六回連続出場。とうとう出場者中最年長になってしまった。後期高齢者になり、ど忘れが心配。

錦の袈裟 町内の若い衆が打ち揃って吉原に遊びに行く。与太郎も、その仲間に入れてもらい同行するが、どういふ訳か、与太郎が一番もてしまう。何故か？その訳は？

信加亭 艶 満 (しんかてい えんまん)
本名 鞠子公男。昭和四十一年(法)卒。

半世紀前、友人の結婚式の披露宴で余興を演じることになり、爾来、落語は私にとって人間関係を豊かにする潤滑油です。

宗徳院 茶店で一瞬だけ出会った若旦那とお嬢さんが共に恋煩いに陥ったために、それぞれの出入りの者が相手方を探すという筋立て。その歌が題材になっているが、保元の乱で讃岐に流された崇徳上皇の史実に触れるものではない。

東中亭 どテ珍 (とうちゆうてい どてちん)
本名 荒瀬寛 平成十三年(文)卒。

前の週(十月八日・九日)に大阪池田市の社会人落語日本一選手権に今日と同じネタの「しつくすせんす」で出場しているはず。結果は高座で!?

しつくすせんす 立川吉笑著『現在落語論』に感化されて、吉笑さんの「擬古典」と「ギミックとロジック」のスタイルを真似て作ってみた自作の新作落語です

乱亭 馬明日 (らんてい ばあす)
本名 佐野智。平成十四年(理)卒。

阪神ファンです。普段は、宇宙開発の仕事に勤しみ、初参加です。その勤しんだ成果を今日は発揮なるか!?

はやぶさの最期 今年他界された講談師 神田陽司師匠を追悼して、師匠の新作講談を復刻！遙か彼方の小惑星イトカワから岩石サンプルを持ち帰るといふ、世界初のミッションに挑んだ「はやぶさ」の軌跡。

於家 馬 亜 (おや まあ)
本名 佐藤弘毅 平成六年(法)卒。

四十代半ばになりますが、ここではまだまだ若手で…。お後お目当てお楽しみにお付き合ってくださいませよう。

芝基 昨年は『あくび指南』、「退屈で退屈で」はなかったでしょうか。皆様方は、退屈にならない、何か御趣味をお持ちでしょうか。今回は囲碁にはまった二人の嘶です。

南家 御 前 (なんや おまえ)
本名 能美吉貴。平成三年(法)卒。

銀行員生活も二十年を越えましたが、役職は至つて軽く、妻の「PTA〇〇支部・部長」の大きさに圧倒されています。

殺し屋イチロー 二年ぶりに、「イチロー」ブームののっかり新作で勝負します！「第三者の厳しい公正な目」でご覧頂き、万一、面白ければ、みなさまのブログ等で取り上げて頂ければ本当に嬉しいです

春風家 目留妻

(はるかぜや めるへん)
本名 萩原貞臣。昭和六十二年(文)卒。

夏休みに黒部ダムへ。何より嬉しかったのは中学生の息子が家族旅行に付き合ってくれたこと。これが最後かなあ。

粗忽長屋

落語の演目でしばしば目にする「粗忽」という単語。広辞苑によれば「あわただしいこと」ですが、この噺の主人公は猛烈に思い込みの強い人のような。

(なんてい こった)

何事 骨太

本名 加藤直也。昭和五十八年(文)卒。
この夏から職場も改まり、心機一転。久しぶりの高座です。皆さまに今年も笑門来福がございませう、明るくまっすぐ一所懸命、相つとめます。

死神

金の工面が出来ずに死のうと思ひ定めた男に、救いの手を差し伸べて来たのは、何と死神だった。死神が伝授してくれた金儲けの妙案とは？そして男の運命は？

相亭 不撰

(あいてい えらばず)
本名 大塚幸雄。昭和五十二年(農)卒。

最近、妻が所属する神楽坂の阿波踊り連に入って、篠笛を始めました。笛の仲間は若い女性ばかり、練習の度に若返るような気がしています。

短命

高校の学園祭の時、杉並公会堂で全校生徒の前にやったネタ。生徒も笑ったけど、実は一番受けていたのは先生たちでした。

晴れる家きりすと

(はれるや きりすと)
本名 駒形康吉。昭和四十九年(工)

新しい噺を覚えるのに四苦八苦。軽さが魅力のこの噺がべたべたになったら歳のせい？開き直るのは年々上手くなった。

蜘蛛駕籠

江戸の境の六郷の渡し。駕籠屋が往来を通る人に次々に声を掛けて乗ってもらおうとしているだけの何てことない噺なのですが、今の時代にはなくなってしまう人間のやりとりが何とも楽しい。

和朗亭 南坊

(わろうてい なんぼう)
本名 首藤龍廣。昭和五十九年(文)卒

今年はずの幅を広げたいと思ひまして、米朝さんがやらなかったネタに挑戦いたします。

船弁慶

「雷のお松」の異名を取る女房の尻に敷かれる喜六、悪友の清八の機転で、女房を誤魔化して船遊びに繰り出すが……。大阪の夏の風情が漂う中に勃発する大騒動、結末は聞いてのお楽しみ。

バルク亭 源内

(ばるくてい げんない)

本名 平賀英一。昭和四十七年(文)卒。
船大工の帳場預かる番頭稼業もはや十年の演者。仲間に刺激され大ネタを出します。聞くお客様が大変ですが、そこは寝床の世界に引き込まれた、とご覚悟を。

三井の大黒

左甚五郎伝を四十何年ぶりに演じます。住友系の船大工の番頭が三井家の話をして良いのか？ま、最近では三井と住友がくっついた大店もありますのでご容赦を。

宮亭 大真

(きゅうてい おおま)

本名 正國彦。昭和五十二年(法)卒。
弁護士をしています。毎年この会に出させて頂いています。今年はず某放送局の大河ドラマにちなんでのお噺でご機嫌を伺います。憎めない子供を自身の孫だと思っていただければ。

真田小僧

息子の悪知恵にまんまとこずかいをせしめられた父親。そんな息子を真田幸村の幼いころの逸話を持ち出して比較すると、そこにまた息子が現れて……

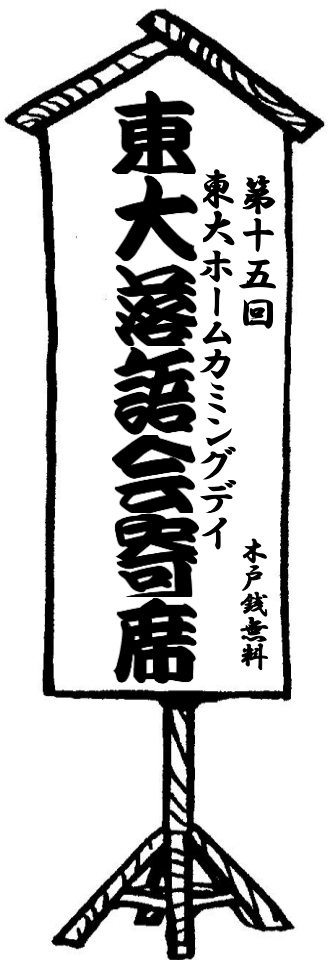
風多家 さん助

(ふうたや さんすけ)

本名 藤井隆。昭和四十七年(文)卒。
自称「武闘派中興の祖」も、前期高齢者の仲間入り、「学究の道」に目覚め、自分の噺をやたら解説したがる癖が付きましました。

春鶯

(めかうま と読みます。その噺の前段部分で「八五郎出世」と題されることもあります。円生が「落語は笑いだけでなく涙も大事」と悟ったという噺に挑戦します。



東大落語会寄席

主権 東大落語会
共催 東大校友会
後援 東京大学

とき

平成二十八年十月十五日(土)
午前十一時〜午後五時

ところ

本郷キャンパス・法文一号館二十一番教室
東大正門入る、安田講堂手前左、一階
地下鉄 丸の内線・大江戸線 本郷三丁目駅下車
南北線 東大前駅下車 (いずれも徒歩八分)